



ひらせい リフォーム 施工事例

リフォームかわら版
vol.42

今回は、「清潔でバリアフリーにも配慮したトイレ」についてのお話です。

毎日使うトイレ。清潔なことはもちろん使い勝手が良く、バリアフリーにも配慮したトイレがおすすめです。先々の事も見据えてトイレを快適なスペースにしてみませんか。今回は「清潔でバリアフリーにも配慮したトイレ」についてまとめてみました。



トイレをいつも清潔に保つポイント！

汚れにくい、掃除しやすい、脱臭機能トイレが理想的

- ① **汚れにくい** → 汚れにくい表面加工と形状の便器を選ぶ。
- ② **掃除しやすい** → 便座がリフトアップしすき間も掃除しやすいものを選ぶ。
- ③ **脱臭機能** → 脱臭機能のついた便座や床材を選ぶ。

光触媒作用のもつ分解成分により、アンモニア臭の発生や汚れの固着を防ぐ TOTO ハイドロセラ・フロア



トイレ入口は引き戸がおすすめ！

トイレの入口は開き戸ですか？引き戸ですか？

- ① **内開き戸** → 万が一、中で人が倒れた場合に救出に手間取ってしまいます。
- ② **外開き戸** → 体をよけながら扉を開くのでスペースが必要。退出する際に人にぶつかる危険も。
- ③ **引き戸** → 出入りしやすいだけでなく、開口スペースも開き戸より広くとれます。

※開き戸のドアノブは回すのに握力が必要、レバー式に変えるだけでも開閉は楽になります。

【施工例】



施工前

↑ 和式トイレから腰掛式トイレへ、外開き戸から引き戸へ。(H様邸)



施工後

壁には臭い吸着機能のある建材エコカラットを張りました。廊下との段差も解消。



施工後



← 汚れにくく掃除しやすい便器。収納も充実していつもすっきり。(Y様邸)

スペース活用 3枚連動引き戸はおすすめ。



施工前

↑ 内開き戸から引き戸へ。(K様邸)



施工後

小物を飾れる棚がセットされた棚手すりはインテリア性もGood！



お気軽にお問い合わせ下さい！

 0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部